

令和7(2025)年度 十勝農試 定期作況報告 大豆

月	作況	事由
6月20日	やや良	播種期は平年より1日早い5月19日であった。播種後の降水量は平年並で土壌水分が十分にあったことから、出芽は斉一であった。出芽期は平年より1日早い5月30日で、出芽率は平年を上回った。6月上～中旬は高温多照に経過したことから、主茎長・主茎節数とも平年を上回っている。 以上のことから、現在の作況はやや良である。
7月20日	やや良	6月下旬以降、高温多照に経過したため、開花始は平年より9日早かった。主茎長、主茎節数は平年をやや上回っており、分枝数は平年を上回っている。 以上のことから、現在の作況はやや良である。
8月20日	平年並	7月下旬以降も引き続き高温に経過し、登熟は順調に進行している。主茎長は平年よりやや短く、主茎節数は平年をやや上回り、分枝数は平年を上回っている。着莢数は平年並である。 以上のことから、現在の作況は平年並である。
9月20日	平年並	8月下旬以降も引き続き高温に経過したため、登熟は順調に進行し、成熟期は平年より11日早かった。主茎長は平年よりやや短く、主茎節数は平年並である。分枝数は平年を上回っている。着莢数は平年並である。 以上のことから、現在の作況は平年並である。
10月20日	良	着莢数、百粒重は平年並であったが、一英内粒数は平年を大きく上回り、子実重は平年比112%と多収であった。屑粒率は0.1%と平年より低かった。 以上のことから、現在の作況は良である。
11月20日	良	播種期は平年より1日早い5月19日であった。播種後の降水量は平年並で土壌水分が十分にあったことから、出芽は斉一であった。出芽期は平年より1日早い5月30日で、出芽率は平年を上回った。その後も高温多照で経過したため、開花始は平年より9日早かった。開花後も気象は高温多照で経過したため、登熟は順調に進行し、成熟期は平年より11日早かった。主茎長は平年よりやや短く、主茎節数は平年並で、分枝数は平年を上回った。着莢数と百粒重は平年並であったが、一英内粒数は平年を大きく上回り、子実重は平年比112%と多収であった。屑粒率は0.1%と平年より低く、検査等級は1等で平年を上回った。 以上のことから、本年の作況は良である。

生育データ

品種名		ユキホマレ		
項目／年次		本年	平年	比較
播種期(月日)		5.19	5.20	△ 1
出芽期(月日)		5.30	5.31	△ 1
出芽率(%) ³⁾		98.0	89.7	8.3
開花始(月日)		7.04	7.13	△ 9
成熟期(月日)		9.12	9.23	△11
主 茎 長 (cm)	6月20日	19.3	13.0	6.3
	7月20日	68.6	67.0	1.6
	8月20日	69.9	75.2	△5.3
	9月20日	67.2	73.5	△6.3
	成熟期	67.2	73.3	△6.1
主 茎 節 数 (節)	6月20日	4.4	3.1	1.3
	7月20日	11.2	10.4	0.8
	8月20日	11.4	10.8	0.6
	9月20日	10.9	10.8	0.1
	成熟期	10.9	10.9	0.0
分 枝 数 (本/株)	7月20日	6.3	4.9	1.4
	8月20日	7.4	4.9	2.5
	9月20日	6.2	4.8	1.4
	成熟期	6.2	4.8	1.4
着 莢 数 (英/株)	8月20日	75.4	76.7	△1.3
	9月20日	78.0	77.0	1.0
	成熟期	78.0	77.4	0.6
一英内粒数(粒)		2.00	1.80	0.20
子実重(kg/10a) ⁴⁾		444	395	49
百粒重(g) ⁴⁾		38.2	37.9	0.3
屑粒率(%)		0.1	5.1	△5.0
品質(検査等級) ⁵⁾		1等	2中	－
子実重対平年比(%)		112	100	12

備考1) 平年値は、前7か年中、令和6年(豊作年)および平成30年(凶作年)を除く5か年平均である。

2) △は、平年と比較して「早」、「少」、「短」、「軽」、「低」を表す。

3) 間引き直前に調査した値。

4) 水分含量15%に換算した値。

5) 農産物検査による等級。2等・3等は上・中・下に分けた。

耕種概要

一 区面積 (㎡)	区制	前作物	畦幅 (cm)	株間 (cm)	1株 本数	株数 (株/10a)	播種期 (月日)	種子 処理
16.8	3	ソルガム	60	20	2	8,333	5.19	クルーザー MAXX
施 肥 量 (kg/10a)								
N	P ₂ O ₅	K ₂ O	MgO	堆肥	その他			
1.8	15.0	7.8	3.0	なし	なし			